

[特集]

「生活保護」 の本丸に迫る

[この特集は……]

精神科の患者さん・利用者さんと生活保護は、大変近い関係にあります。
ただ現在のあり方は、財政的な負担の増加という面もさることながら、
「人が人を活かしていない社会」「自信と誇りをもって生きられない社会」を
作ってしまっている仕組みだと考えます。
その裏には社会にただよう「不平等感」も存在します。

なぜそうなっているのか、
これから私たちには何ができるのか、
その本丸に迫ります。

本特集の内容は、以下の要素で構成されています。

- *まずは生活保護を受給している人の実態を知る。
- *その実態に即して、どういった支援が有効なのかを考える。
- *社会に「不平等」感が生まれないための給付のあり方を提案する。
- *医療・福祉の現場で今何が行われているのかを知る。
- *就労につなげる海外の取り組みからヒントを得る。

本特集を通して、読者1人1人の中に「生活保護」に対する考えが生まれることをねらいとしています。

